

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE



Applicant(s): MAKISHIMA, Sugio et al.

Application No.:

Group:

Filed: August 7, 2001

Examiner:

For: PRINT SYSTEM AND METHOD OF CONTROLLING OPERATION OF SAME

LETTER

Assistant Commissioner for Patents  
Box Patent Application  
Washington, D.C. 20231

August 7, 2001  
0905-0266P-SP

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2000-240973	08/09/00
JAPAN	2001-073426	03/15/01

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By: 

DONALD J. DALEY

Reg. No. 34,313

P. O. Box 747

Falls Church, Virginia 22040-0747

Attachment  
(703) 205-8000  
/cqc

BSLB 703-205-8500  
MAKISHIMA et al  
0905-0266P  
August 7, 2001  
1082

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.



出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月 9日

願 番 号

Application Number:

特願2000-240973

願 人

Applicant(s):

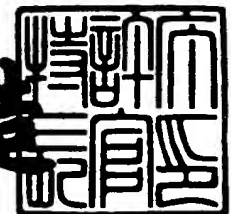
富士写真フイルム株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月16日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3019373

【書類名】 特許願

【整理番号】 00014

【提出日】 平成12年 8月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B41J 2/00

【発明の名称】 プリント・システムおよびその動作制御方法

【発明者】

【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水三丁目 1 1 番 4 6 号 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 五十嵐 博

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100080322

【弁理士】

【氏名又は名称】 牛久 健司

【選任した代理人】

【識別番号】 100104651

【弁理士】

【氏名又は名称】 井上 正

【連絡先】 0 3 - 3 5 9 3 - 2 4 0 1

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006932

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9800030

【包括委任状番号】 9800031

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プリント・システムおよびその動作制御方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 プリント終了の連絡先を入力する入力手段、  
画像を可視記録媒体にプリントするプリンタ、  
上記プリンタによるプリントが終了したかどうかを判定する判定手段、 および  
上記判定手段によりプリントが終了したと判定されたことにより、上記入力手段によって入力された連絡先によって特定されるデータ受信装置にプリントが終了した旨を表すデータを通信回線を通じて送信する送信手段、

を備えたプリント・システム。

【請求項 2】 画像およびその画像の所有者を識別するための識別符号を可視記録媒体にプリントするプリンタ、

上記プリンタによりプリントされた可視記録媒体をプリント・システム内部に保持する保持機構、

上記プリンタにより上記可視記録媒体にプリントされた識別符号を報知する識別符号報知手段、

識別符号を入力する識別符号入力手段、ならびに

上記識別符号入力手段により識別符号が入力されたことに応じて、上記保持機構に保持されている上記可視記録媒体のうち入力された識別符号が記録されている上記可視記録媒体を上記保持機構からプリンタ・システム外部に排出する排出手段、

を備えたプリンタ・システム。

【請求項 3】 プリント終了の連絡先を入力し、

画像を可視記録媒体にプリントし、

上記プリントが終了したかどうかを判定し、

プリントが終了したと判定されたことにより、入力された連絡先によって特定されるデータ受信装置にプリントが終了した旨を表すデータを通信回線を通じて送信する、

プリント・システムの動作制御方法。

【請求項 4】 画像およびその画像の所有者を識別するための識別符号を可視記録媒体にプリントし、

上記プリントされた可視記録媒体をプリント・システム内部に保持し、

上記可視記録媒体にプリントされた識別符号を報知し、

識別符号を入力し、

識別符号が入力されたことに応じて、上記保持機構に保持されている上記可視記録媒体のうち入力された識別符号が記録されている上記可視記録媒体を上記保持機構からプリンタ・システム外部に排出する、

プリンタ・システムの動作制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【技術分野】

この発明は、画像を可視記録媒体に記録するプリンタ・システムおよびその動作制御方法に関する。

【0002】

【発明の背景】

プリンタの性能は向上してきたが、画像をプリントするには未だ比較的長い時間が必要である。特に画像の高解像度化が進んでいるために、比較的長いプリント時間が必要となる。また、多くの枚数をプリントする場合には、より一層長い時間が必要である。

【0003】

ユーザが所有している自宅のプリンタを用いて画像をプリントする場合であれば、画像をプリントしている間に他の用事を済ますこともできるが、コンビニエンス・ストアなどに置かれているプリンタを用いてプリントする場合には、画像がプリントされた可視記録媒体が盗まれるおそれがあるために、プリンタの前になければならない。ユーザは、プリントが終了するまでプリンタの前に拘束されることとなる。また、画像のプリント時間は画像の解像度に依存するためにプリントの終了時間を予測するのは比較的困難である。

【 0 0 0 4 】

【発明の開示】

この発明は、画像のプリントの終了時間が分かるようにすることを目的とする。

【 0 0 0 5 】

また、この発明は、プリントが終了するまで、ユーザがプリンタから離れることができるようにすることを目的とする。

【 0 0 0 6 】

第 1 の発明によるプリンタ・システムは、プリント終了の連絡先を入力する入力手段、画像を可視記録媒体にプリントするプリンタ、上記プリンタによるプリントが終了したかどうかを判定する判定手段、および上記判定手段によりプリントが終了したと判定されたことにより、上記入力手段によって入力された連絡先によって特定されるデータ受信装置にプリントが終了した旨を表すデータを通信回線を通じて送信する送信手段を備えていることを特徴とする。

【 0 0 0 7 】

第 1 の発明は、上記システムに適した動作制御方法も提供している。すなわち、この方法は、プリント終了の連絡先を入力し、画像を可視記録媒体にプリントし、上記プリントが終了したかどうかを判定し、プリントが終了したと判定されたことにより、入力された連絡先によって特定されるデータ受信装置にプリントが終了した旨を表すデータを通信回線を通じて送信するものである。

【 0 0 0 8 】

第 1 の発明によると、プリント終了の連絡先（たとえば、携帯電話の電話番号、設置されている電話の電話番号、電子メール・アドレスなど）が入力される。可視記録媒体への画像のプリントが終了すると、プリントの終了を表すデータが、入力された連絡先によって指定されるデータ受信装置（携帯電話、設置電話、パーソナル・コンピュータなど）に通信回線を通じて送信される。

【 0 0 0 9 】

ユーザは、通信回線を通じて送信されたプリントの終了を表すデータを受信することにより、プリントが終了したことが分かる。プリントが終了した後に、プ

リントされた可視記録媒体を取りに行くことができる。プリントが終了するまでの時間に拘束されることなく、他の用事を済ますことができ、時間を有効に利用することができる。

## 【 0 0 1 0 】

第2の発明によるプリンタ・システムは、画像およびその画像の所有者を識別するための識別符号を可視記録媒体にプリントするプリンタ、上記プリンタによりプリントされた可視記録媒体をプリント・システム内部に保持する保持機構、上記プリンタにより上記可視記録媒体にプリントされた識別符号を報知する識別符号報知手段、識別符号を入力する識別符号入力手段（識別符号読取手段）、ならびに上記識別符号入力手段により識別符号が入力されたことに応じて、上記保持機構に保持されている上記可視記録媒体のうち入力された識別符号が記録されている上記可視記録媒体を上記保持機構からプリンタ・システム外部に排出する排出手段を備えていることを特徴とする。

## 【 0 0 1 1 】

第2の発明は、上記システムに適した動作制御方法も提供している。すなわち、この方法は、画像およびその画像の所有者を識別するための識別符号を可視記録媒体にプリントし、上記プリントされた可視記録媒体をプリント・システム内部に保持し、上記可視記録媒体にプリントされた識別符号を報知し、識別符号を入力し、識別符号が入力されたことに応じて、上記保持機構に保持されている上記可視記録媒体のうち入力された識別符号が記録されている上記可視記録媒体を上記保持機構からプリンタ・システム外部に排出するものである。

## 【 0 0 1 2 】

第2の発明によると、可視記録媒体には、画像とその画像の所有者を識別するための識別符号（たとえば、バーコードを含む）がプリントされる。プリントされた可視記録媒体は、プリント・システム内部の保持機構に保持される。また、可視記録媒体にプリントされた識別符号がユーザに報知される。プリントが終了し、報知された識別符号がユーザによって入力されると、上記保持機構に一時保持されている可視記録媒体のうち、その入力された識別符号が記録されている可視記録媒体が上記保持機構から排出される。ユーザは、画像がプリントされた可



視記録媒体を受け取ることができる。

【 0 0 1 3 】

第2の発明によると、ユーザが識別符号を入力するまでは可視記録媒体がプリント・システムの内部の保持機構に保持される。ユーザによって識別符号が入力されると、保持機構に保持されている可視記録媒体のうち、入力された識別符号が記録されている可視記録媒体が排出される。識別符号を知らない第三者は、プリント・システムの内部に保持されている可視記録媒体を受け取ることができない。画像がプリントされた可視記録媒体が第三者によって盗まれるおそれもない。特に、可視記録媒体には、識別符号がプリントされるので、その識別符号を利用して、入力された識別符号に対応する可視記録媒体を選別して排出することができるようになる。

【 0 0 1 4 】

【実施例の説明】

図1は、プリンタ・システムの外観を示している。

【 0 0 1 5 】

プリンタ・システム1は、FD（フロッピー・ディスク）、CD（コンパクト・ディスク）、メモリ・カードなどのメディアに記録されている画像データによって表される画像を用紙（可視記録媒体）にプリントして出力するものである。

【 0 0 1 6 】

この実施例によるプリンタ・システム1は、用紙の画像をプリントするとともに、その用紙の一部にユーザを識別するためのバーコードをプリントすることができる。画像がプリントされた用紙は、プリンタ・システム1内に保持される。また、用紙に画像とともにプリントされたバーコードと同じバーコードが、画像がプリントされた用紙とは別の用紙にプリントされて排出口9から排出される。バーコードがプリントされた用紙をユーザが受け取る。ユーザは、排出されたバーコードをプリンタ・システム1に後で読み取らせることにより、読み取られたバーコードに対応するプリントがプリンタ・システム1から排出される。画像がプリントされた用紙をプリント終了から一定時間経過した後であっても第三者に盗まれることなく受け取ることができる。

## 【 0 0 1 7 】

また、この実施例によるプリンタ・システム1は、ユーザの連絡先を入力しておくことにより、画像のプリントが終了すると、その連絡先にプリント終了の旨を連絡できる。プリントが終了するまで、ユーザがプリンタ・システム1の近くにいる必要もない。ユーザは、プリンタ・システム1から離れて、プリント中に用事を済ますことができる。

## 【 0 0 1 8 】

プリンタ・システム1の詳しい動作は、後述の説明によって明らかとなる。

## 【 0 0 1 9 】

プリンタ・システム1のユーザは、プリンタ・システムの前方に立って操作する。

## 【 0 0 2 0 】

プリンタ・システム1の前面の上方には、FDを装填するためのFDスロット5、CDを装填するためのCDスロット6およびメモリ・カードを装填するためのメモリ・カード・スロット7が形成されている。このメモリ・カード・スロット7の下方には、プリンタ・システム1の利用料を投入するためのコイン投入口8が形成されている。さらに、プリンタ・システム1の前面の下方には、プリントされた用紙を排出するための排出口9が形成されている。

## 【 0 0 2 1 】

プリンタ・システム1の上面には、文字、画像等を表示するための表示画面2が設けられている。この表示画面2の手前には、後述するようにバーコードを読み取るためのバーコード・リーダの読み取り面4が形成されている。さらに、表示画面2の右側には、ユーザによって指令が与えられる各種キー群3が設けられている。

## 【 0 0 2 2 】

図2は、プリンタ・システム1の電氣的構成を示すブロック図である。

## 【 0 0 2 3 】

プリンタ・システム1の全体の動作は、プリント・コントローラ10によって統括される。

## 【 0 0 2 4 】

プリンタ・システム 1 には、上述した表示画面 2 をもつ表示装置 11 が含まれている。表示装置 11 の表示画面 2 上にはタッチ・パネル 22 が形成されている。タッチ・パネル 22 上をタッチしたことを示す信号は、プリント・コントローラ 10 に入力する。電話回線のような通信回線を介して通信装置と通信するためのモデム 12 および上述したバーコード読み取り面 4 をもつバーコード・リーダ 13 が含まれている。また、上述したように各種キー群 3 も含まれており、各種キー群 3 からの指令を表す信号は、プリント・コントローラ 10 に入力する。

## 【 0 0 2 5 】

また、プリンタ・システム 1 には、FD スロット 5 に装填された FD に記録されている画像データを読み取るための FD ドライブ 15、CD スロット 6 に装填された CD に記録されている画像データを読み取るための CD ドライブ 16 およびメモリ・カード・スロット 7 に装填されたメモリ・カードに記録されている画像データを読み取るためのメモリ・カード・リーダ 17 が含まれている。

## 【 0 0 2 6 】

さらに、プリンタ・システム 1 には、コイン投入口 8 から投入されたコインに確認、おつりの算出などの所定の処理を行うためのコイン・マシン 18 が含まれている。また、画像およびバーコードをプリントするためのプリンタ 19 ならびに画像がプリントされた用紙をバーコードにもとづいて区分けするためのソーティング・ユニット 20 が含まれている。

## 【 0 0 2 7 】

図 3 は、プリンタ・システム 1 の表示画面 2 の一例を示している。

## 【 0 0 2 8 】

この表示画面 2 は、上述したように連絡先としての電話番号および電子メール・アドレスを入力する画像である。

## 【 0 0 2 9 】

連絡先入力画像には、入力された電話番号を表示する領域 31、入力された電子メール・アドレスを表示する領域 31 ならびにアルファベットが表示されている領域 33 および数字が表示されている領域 34 が含まれている。表示画面 2 の領域 33 に

表示されているアルファベットをタッチすることによりアルファベットが入力される。表示画面 2 の領域34に表示されている数字をタッチすることにより数字が入力される。

## 【 0 0 3 0 】

たとえば、電話番号を入力するときには、まず、領域31上がタッチされる。すると、電話番号の入力ができる状態となり、領域34に表示されている数字がタッチされることにより入力された電話番号が領域31に表示される。また、電子メール・アドレスを入力するときには、領域32上がタッチされる。すると、電子メール・アドレスの入力ができる状態となり、領域33に表示されているアルファベットまたは領域34に表示されている数字がタッチされることにより入力された電子メール・アドレスが領域32に表示される。

## 【 0 0 3 1 】

図 4 は、プリンタ・システム 1 において画像がプリントされた用紙35の一例を示している。

## 【 0 0 3 2 】

用紙35のほぼ全面には画像表示領域36が形成されており、この画像表示領域36にプリンタ・システム 1 に装填されたメディアに記録されている画像データによって表される画像がプリントされる。

## 【 0 0 3 3 】

また、用紙の右下には、バーコード表示領域37が形成されており、この領域37に上述したようにユーザを識別するためのバーコードがプリントされる。

## 【 0 0 3 4 】

図 5 は、プリンタ・システム 1 に内蔵されているソーティング・ユニット20を示している。

## 【 0 0 3 5 】

ソーティング・ユニット20には、プリンタ19を内蔵している筐体21が含まれている。筐体21の前面の上部の中央部分には排出口22が形成されている。プリンタ19によって画像およびバーコードがプリントされた用紙35がこの排出口22から筐体21外部に排出される。

## 【 0 0 3 6 】

筐体21の前面に左スタック23、中央スタック24および右スタック25が設けられている。これらの左スタック23、中央スタック24および右スタック25は、いずれも画像およびバーコードがプリントされた用紙35を保持するものである。左スタック23、中央スタック24および右スタック25にそれぞれ保持された用紙35は、他のスタックに移動することができるように、用紙35を左右方向に移動させる機構（図示略）が設けられている。左スタック23、中央スタック24および右スタック25には、いずれも上下動自在な台座23A、24Aおよび25Aが含まれている。中央スタック24には、その下方にトレイ26が形成されている。

## 【 0 0 3 7 】

筐体21の前面において、排出口22の上部には、バーコード検出センサ27が設けられている。このバーコード検出センサ27は、用紙35にプリントされているバーコードの内容を検出するものである。

## 【 0 0 3 8 】

プリンタ19によって画像およびバーコードがプリントされた用紙35は、排出口22から排出され、中央スタック24に集められる。その後、中央スタック24に集められた用紙35は、左スタック23または右スタック25に移動させられる。

## 【 0 0 3 9 】

ユーザによって、バーコードが印刷された用紙がバーコード読み取り面4に置かれると、バーコード・リーダ13によってそのバーコードの内容が読み取られる。すると、左スタック23に集められた用紙35が一枚ずつ中央スタック24に移動する。バーコード検出センサ27によって用紙35にプリントされているバーコードが読み取られる。バーコード・リーダ19によって読み取られたバーコードの内容と同じ内容のバーコードがプリントされている用紙35が中央スタック24に集められる。バーコード・リーダ19によって読み取られたバーコードの内容と異なるバーコードがプリントされている用紙35については、中央スタック24に集められずに、たとえば右スタック25に移動する。ユーザがバーコード読み取り面2に置いたバーコードの内容と同じバーコードをもつ用紙35が中央スタック24に集められる。

## 【 0 0 4 0 】

ユーザがバーコード読み取り面 2 に置いたバーコードの内容と同じバーコードをもつすべての用紙 35 が中央スタック 24 に集められると、中央スタック 24 の台座 24 A が下方に下がる。すると、中央スタック 24 の台座 24 A 上に載っている用紙 35 がトレイ 26 から排出される。トレイ 26 から排出された用紙 35 がプリンタ・システム 1 の排出口 9 から排出されることとなる。

## 【 0 0 4 1 】

図 6 は、プリンタ・システム 1 の処理手順を示すフローチャートを示している。

## 【 0 0 4 2 】

プリントすべき画像を表す画像データが格納されているメディアが F D スロット 5、C D スロット 6 およびメモリ・カード・スロット 7 のうち対応するスロットに装填される（ステップ 41）。すると、表示画面 2 上にメニュー画像が表示される（ステップ 42）。メニュー画像にもとづいて、プリンタ・システム 1 による画像のプリントが終了したときに通知をするかどうかを選択される。また、複数のレイアウトのサンプル画像が表示画面 2 上に現れ、その複数のレイアウトのサンプル画像の中から所望のレイアウトが選択される（ステップ 43）。さらに、装填されたメディアに記録されている画像データによって表される画像が一覧表示され、一覧表示された画像の中からプリントすべき画像が選択される（ステップ 44）。さらに、各種キー群 3 を用いてプリント枚数が入力される（ステップ 45）。

## 【 0 0 4 3 】

ユーザによって入力されたプリント枚数などにもとづいて、プリント金額が算出され、その金額が表示画面 2 上に表示される（ステップ 46）。ユーザは、表示画面 2 上に表示された金額に相当する金額のコインをコイン投入口 8 が投入する（ステップ 47）。

## 【 0 0 4 4 】

ユーザによってプリント終了を通知すると設定されていると（ステップ 48 で Y E S）、表示画面 2 には、図 3 に示す連絡先入力画像が表示されることとなる。

ユーザは、この連絡先入力画像を利用してプリントが終了したときの連絡先である電話番号または電子メール・アドレスを入力する（ステップ49）。もちろん、電話番号および電子メール・アドレスの両方を入力してもよい。ユーザによって連絡先が入力されると、指定された画像のプリントを開始する（ステップ50）。プリントが終了すると入力した連絡先にその旨が知らせられるので、プリントが終了するまで、ユーザが時間を拘束されることもない。

## 【 0 0 4 5 】

プリントが終了すると（ステップ51でYES）、入力された電話番号または電子メール・アドレスによって特定される連絡先の通信装置（携帯電話、設置電話、パーソナル・コンピュータなど）にモデム12を用いて終了した旨が通知される（ステップ52）。たとえば、連絡先が電話番号であれば、あらかじめ、終了した旨のメッセージを録音しておき、そのメッセージを表す音データがプリンタ・システム1からユーザの電話に送信されることとなろう。ユーザを電話に應對することにより、プリント終了のメッセージを聞くことができ、プリント終了の旨を知る。また、連絡先が電子メール・アドレスであれば、プリント終了の旨を示すデータがプリンタ・システムからメール・サーバに送信される。メール・サーバからユーザのパーソナル・コンピュータに電子メールが送信され、電子メールをユーザが見ることにより、プリントが終了したことを知る。

## 【 0 0 4 6 】

プリント終了の通知が設定されていなければ（ステップ48でNO）、すべての画像のプリントが終了するまで、画像のプリントが行われる（ステップ53, 54）。ユーザのプリント終了の通知は行われない。

## 【 0 0 4 7 】

図7は、他の実施例を示すもので、プリンタ・システム1の処理手順を示すフローチャートである。

## 【 0 0 4 8 】

この実施例は、画像とともにバーコードをプリントし、そのバーコードが読み取られたことにより、バーコードに対応したプリントをプリンタ・システム1から放出するものである。

## 【 0 0 4 9 】

上述したのと同様に、画像データが記憶されているメディアがプリンタ・システムに装填され（ステップ61）、メニューが表示される（ステップ62）。このメニュー表示において、バーコードをプリントするかどうかを設定される。

## 【 0 0 5 0 】

また、プリントすべき画像の選択（ステップ63）、プリント枚数の選択（ステップ64）およびレイアウトの選択（ステップ65）が行われ、プリント金額が表示される（ステップ66）。プリント金額に相当するコインがコイン投入口8から投入されると、バーコードをプリントするように設定されているかどうかをチェックされる（ステップ68）。

## 【 0 0 5 1 】

バーコードをプリントするように設定されていると（ステップ68でYES）、上述したようにユーザを識別するためのバーコードがプリンタ19によってプリントされる。プリントされたバーコードの用紙が排出口9から排出され、ユーザに渡される。また排出口9から排出された用紙にプリントされたバーコードと同じバーコードが画像とともに用紙にプリントされる（ステップ70）。プリントされた用紙は、上述したようにソーティング・ユニット20の中央スタック24に集められる（ステップ71）。プリントが終了すると（ステップ72でYES）。左スタック23または右スタック25のうちすでにプリントされた画像が集められているスタックに移動させられる（ステップ73）。したがって左スタック23または右スタック25のうち一方のスタックは空の状態にある。

## 【 0 0 5 2 】

後で、ユーザは、プリンタ・システムが配置されている場所に再び来る。ユーザによってバーコードの用紙がバーコード読み取り面4に置かれる。バーコード・リーダー13によってユーザのバーコードが認識されると（ステップ74でYES）、プリンタ・システム1のソーティング・ユニット20に保持されている、画像のプリント済の用紙35のうち、その認識されたバーコードに対応するバーコードがプリントされている用紙35が上述したように中央スタック24に選別される（ステップ75）。選別された用紙35がトレイ26を介して排出口9からプリンタ・システ



ム 1 の外部に排出されることとなる（ステップ76）。

【 0 0 5 3 】

ユーザは、画像のプリントが終了しなくとも、プリンタ・システム 1 から離れることができる。また、画像がプリントされた用紙35は、対応するバーコードをプリンタ・システム 1 に認識させなければ、プリンタ・システム 1 から取り出せないで、第三者に盗まれるおそれもない。さらに、ユーザ別にあらかじめ、プリントされた用紙を分けておくのではなく、対応するバーコードを認識したときに用紙35を分類するので、スタックの数は少なくて済む。

【 0 0 5 4 】

バーコードをプリントするように設定されていなければ（ステップ68でNO）、バーコードをプリントすることなく画像がプリントされる（ステップ77）。画像がプリントされた用紙35は、中央スタック24に集められる（ステップ78）。プリントが終了すると（ステップ79でYES）、画像がプリントされた用紙35がトレイ26を介して排出口9から排紙されることとなる（ステップ80）。

【 0 0 5 5 】

上述した実施例においては、プリント終了を通知する処理（図6の処理）とバーコードをプリントする処理（図7の処理）とは別々としているが、プリント終了を通知し、かつバーコードをプリントする処理の両方の処理を同じプリンタ・システム1で行うようにしてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】

プリンタ・システムの外観を示している。

【図2】

プリンタ・システムの電氣的構成を示すブロック図である。

【図3】

表示画面の一例を示している。

【図4】

画像がプリントされた用紙の一例である。

【図5】

ソーティング・システムを示している。

【図 6】

プリンタ・システムの処理手順を示すフローチャートである。

【図 7】

プリンタ・システムの他の処理手順を示すフローチャートである。

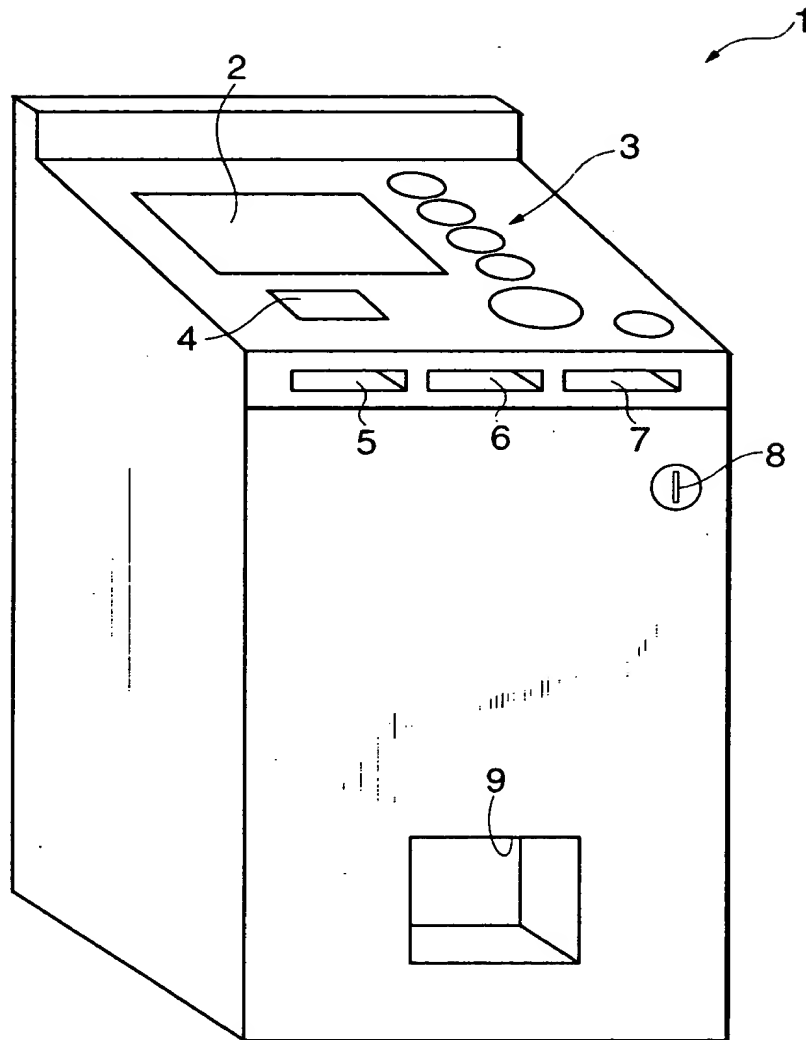
【符号の説明】

- 1 プリンタ・システム
- 2 表示画面
- 4 バーコード読み取り面
- 9, 26 排出口
- 10 プリンタ・コントローラ
- 11 表示装置
- 12 モデム
- 13 バーコード・リーダー
- 15 FDドライブ
- 16 CDドライブ
- 17 メモリ・カード・リーダー
- 19 プリンタ
- 20 ソーティング・ユニット

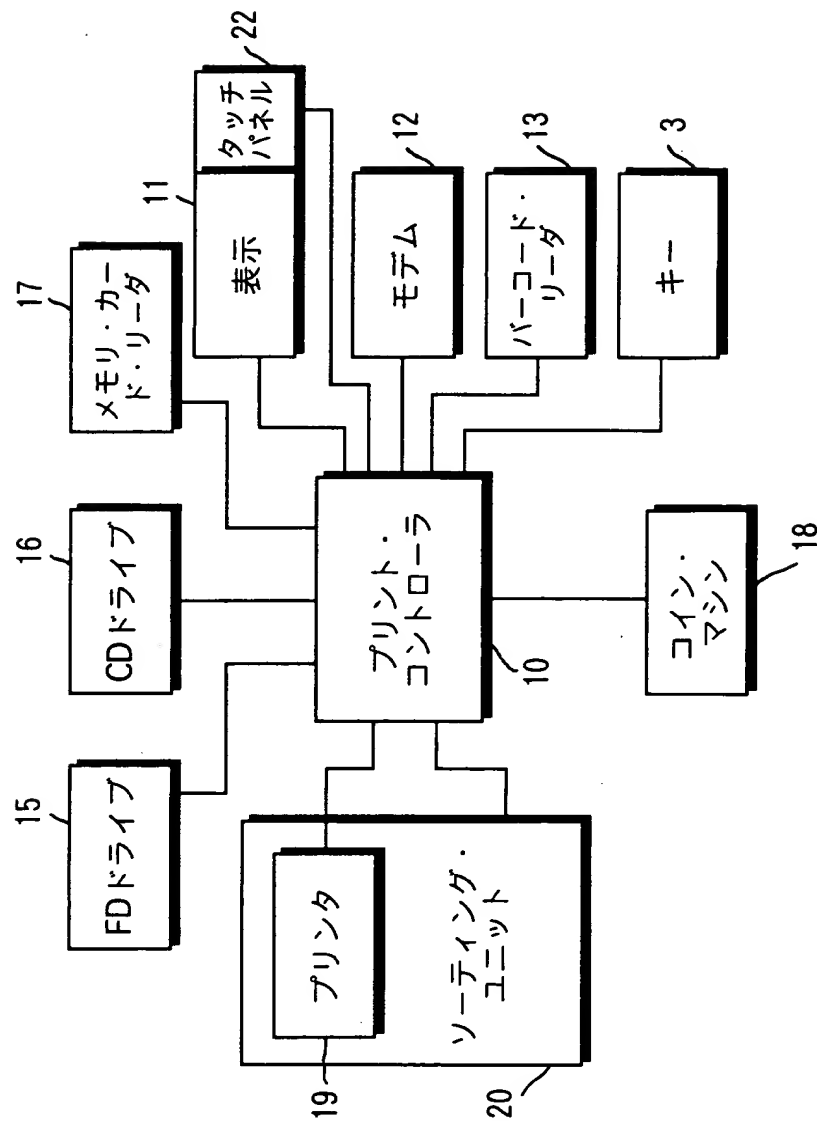
【書類名】

図面

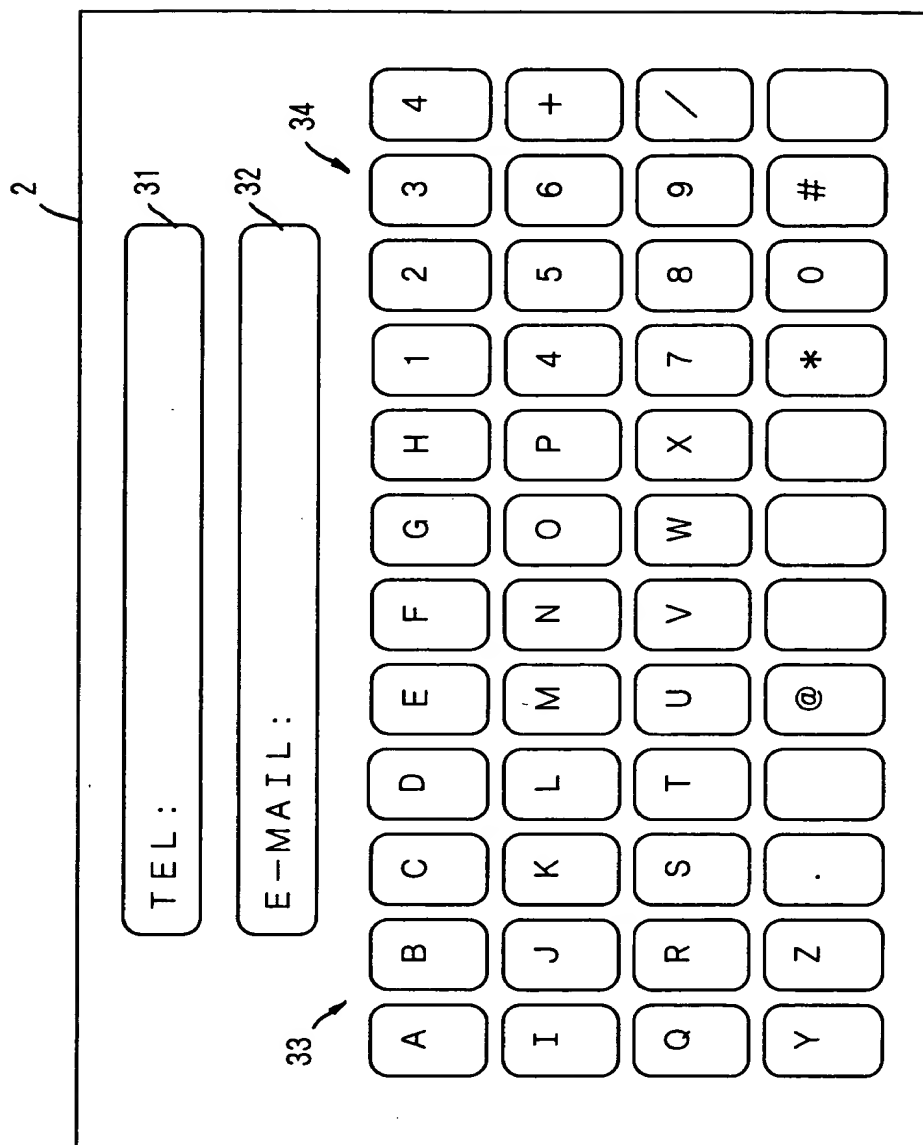
【図1】



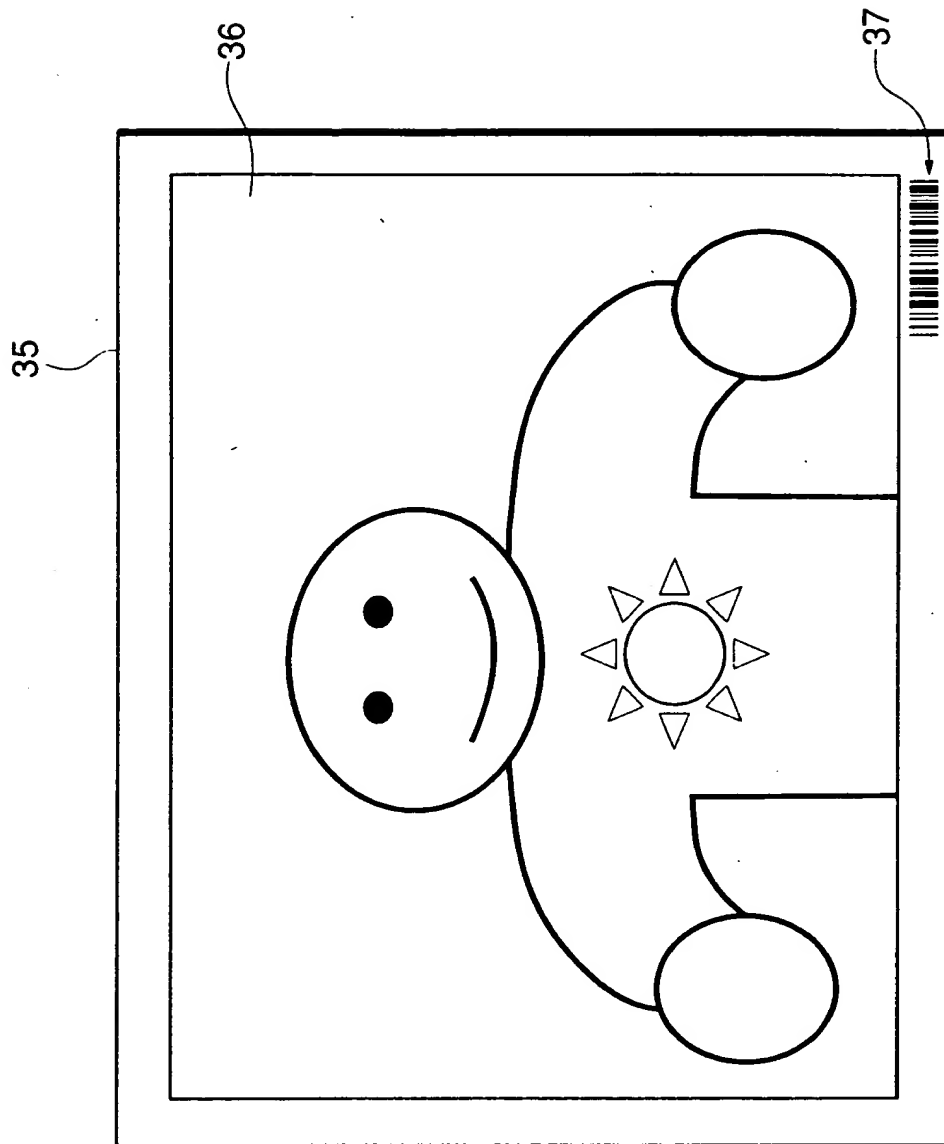
【図2】



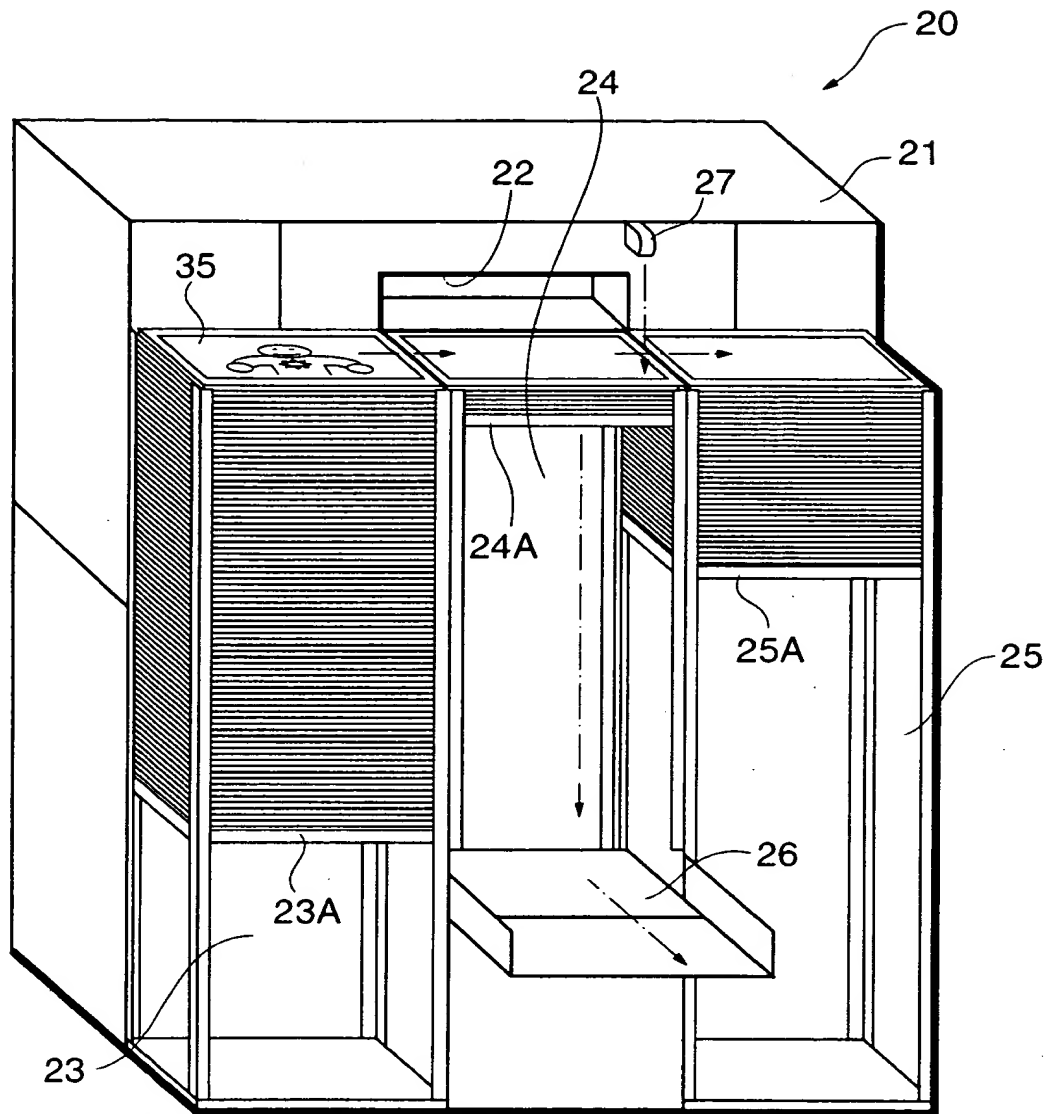
【図 3】



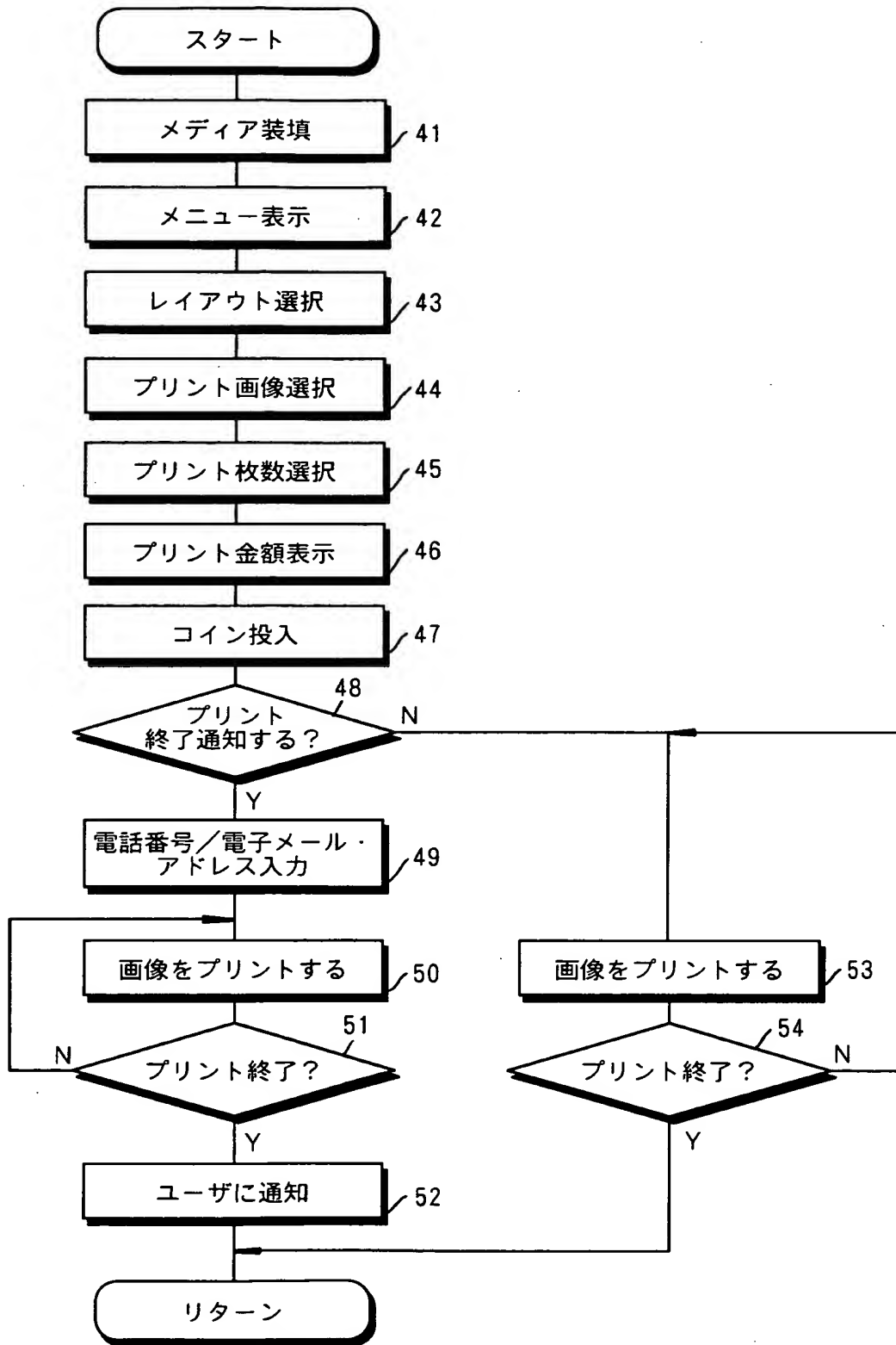
【図4】



【図 5】

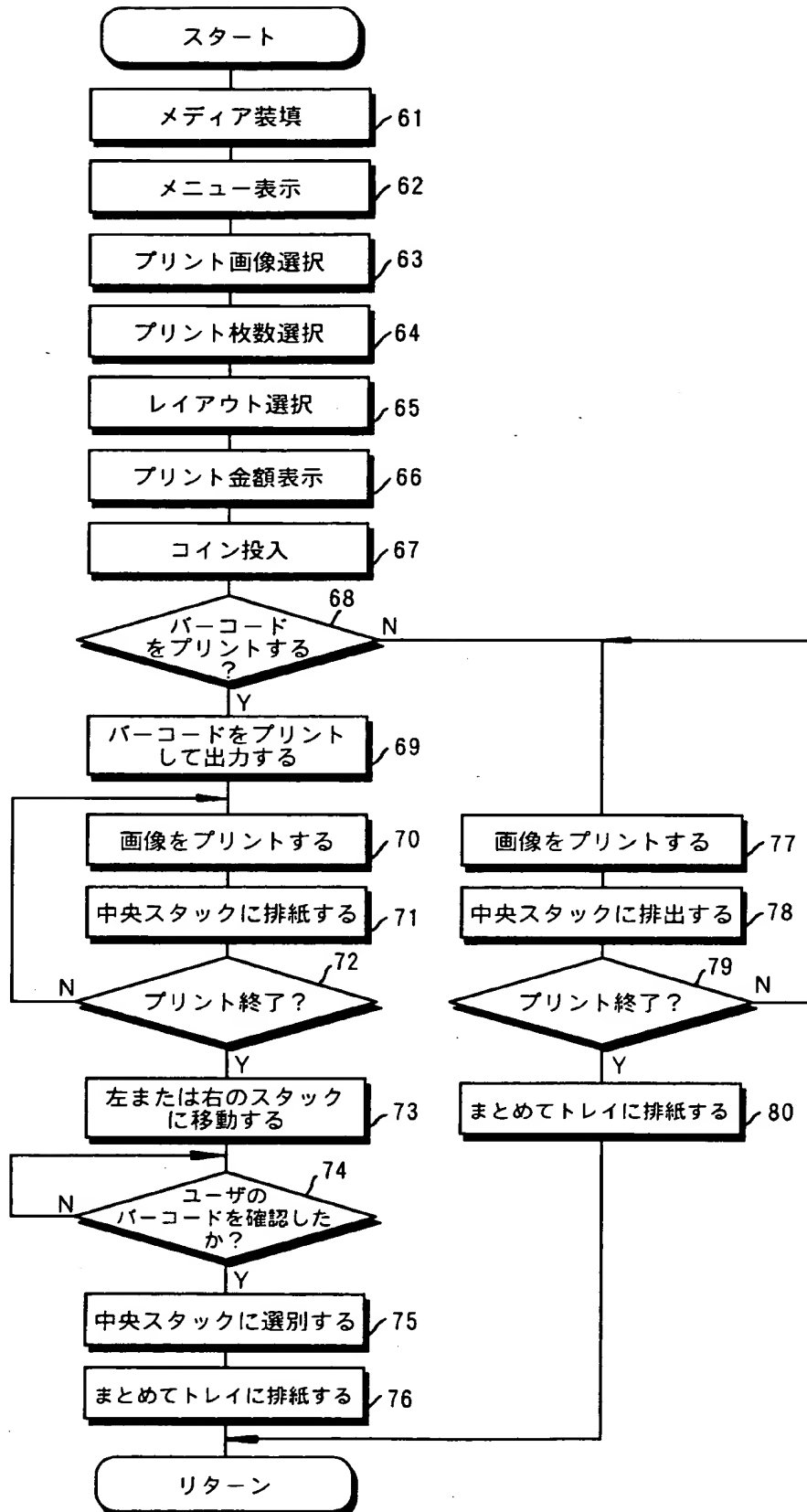


【図 6】





【図 7】



【書類名】 要約書

【目的】 画像のプリントが終了したことをユーザに知らせる。

【構成】 画像をプリントするプリンタ・システムにおいて、プリントすべき画像を指定するとプリントを終了したときの連絡先として電話番号または電子メール・アドレスを入力する（ステップ49）。画像のプリントが終了すると（ステップ50, 51），入力された連絡先にその終了の旨が通知される（ステップ52）。終了の通知を受けることにより，ユーザはプリンタ・システムが配置されている場所に戻る。プリントが終了したことがわかるので，プリント終了までの時間をユーザは有効に利用することができる。

【選択図】 図 6

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社